

各地区からさまざまな声が出された懇談会



受け止める地区医は課題山積 変わりゆく医療制度

地区医師会長との懇談会開く

協会は9月19日、地区医師会長との懇談会を開催。19の地区医師会から出席があり、鈴木由一(副理事長)が進行を務めた。渡邊賢治(副理事長)から「情勢報告」および「新専門医制度」について情報提供した後、意見交換を行った。なお、協会から、16年度に地区交付金を半額に減額し、17年度からは廃止すること。また、地区懇談会費については、多くの会員に出席いただけるよう見直しを行うことを説明し、了承を得た。

医療・介護連携で 試行錯誤の状況

意見交換で特に関心のあった地域包括ケアシステムのほか、医療と介護がどのように連携できるか。医師が他職種といかに協力できるかという点を試行錯誤しながら取り組んでいる。地域包括ケアに関する中で、「地域包括ケア」に関する会議に多くの時間が費やされている。「在宅に対する医師の意識が他職種に比べて低いのではないか」「行政との連携が取りにくく、医師会としてまとめたいのが難しい」という不安の声が聞かれた。一方で、「従来から他職種との交流があ

り、情報交換をしながら進めている」「在宅医療を目指す開業医が増えてきているので、しっかりと地域で育てていきたい」という積極的な意見もあった。

マイナンバーの疑問が次々と
続いて、マイナンバー導入についても話題となった。「非常勤医師の源泉徴収でも、マイナンバーを記載する必要があるのか」

「マイナンバー導入に伴う膨大な事務作業が懸念される」「情報漏えいへの心配される」「なごの声が多く挙げられた。協会は、マイナンバーの取得に関しては、従業員は事業所に提出する義務はないが、事業所は各従業員から提出してもらう努力は必要とされているので、もし提出しない従業員がいる場合には、その経緯が分かるようにしておくことを勧めた。



購読料 年8,000円
送料共 但し、会員は会費に含まれる
発行所
京都府保険医協会
〒604-8162
京都市中京区烏丸通蛸薬師上ル七観音町637
インターワンプレイス烏丸6階
電話 (075) 212-8877
FAX (075) 212-0707
編集発行人 久保 佐世

主な内容
新専門医制度で機構が説明会 (2面)
新専門医制度でアンケート (2面)
病院・有床診療セミナー京都で開催 (4面)

ご用命はアミスまで
◆医師賠償責任保険
◆休業補償制度 (所得補償、傷害疾病保険)
◆針刺し事故等補償プラン
◆自動車保険・火災保険
☎075-212-0303

地区医師会との懇談会

ぜひ、ご参加下さい!

京都北・上京東部・西陣医師会	11月26日(木) 午後2時~	京都府保険医協会
中京西部医師会	11月27日(金) 午後2時30分~	中京西部医師会事務所
乙訓医師会	12月14日(月) 午後2時~	乙訓医師会会議室
亀岡市・船井医師会	1月9日(土) 午後2時30分~	ガレリアかめおか
宇治久世医師会	1月13日(水) 午後2時30分~	うじ安心館ホール
左京医師会	1月16日(土) 午後2時30分~	ウェスティン都ホテル

会の先手を打った取り組みを期待したい」「医師会活動と重複している活動があるので、もっと協会の特色を出してほしい」「政策に対して何でも反対するのでなく、改善策を主張することで、より多くの賛同を得られるようにするべきではないか」といった要望も受けた。このような意見と指摘を受け、最後に垣田理事長から、今後の各地区での懇談会をフィードバックできるようにしたい。一人ひとり

の開業医の意識が問われているので、しっかりと考えていかなければいけない。京都全体の医療をどうしていくか、国の動きを注視しながら、これまでの日本の医療を守ってきた開業医として、京都の医療を守っていききたい。来年、京都で開催する「保団連医療研究フォーラム」では、まさにそのことをテーマとしており、是非協力いただきたくないと締めくくった。